



5年生が、2B 大会ベスト8に!!

第30回体育の日記念少年サッカー大会（2ブロック大会）において、参加60チーム中ベスト8に進出しました。

6月17日（日）

会場：辰巳グラウンド（江東区）

1回戦 FC 深川レインボーズ 6-0 臨海小学校SC

得点：〔レインボーズ〕1 ⑧原田 (1-0)、13 ⑧原田 (2-0)、22 ⑪大西 (3-0)、28 ⑨森山 (4-0)、28 ⑨森山 (5-0)、32 ⑩千葉 (6-0)

雨天延期で日程・会場変更となった大会初戦。緊張した雰囲気の中、前半1分④猪田が右サイドから持ち込みゴール前⑧原田につなぎ幸先よく先制点。13分にはGK クリアミスを見逃さず得点。後半も休まず攻め続け、左右から崩して22分⑪大西、28分⑨森山が追加点。32分には⑩千葉が相手クリアをカットしゴールに流し込む。⑬奥田も左サイドから積極的に攻撃参加し、後半途中出場の⑱遼平、⑳雅乃、㉑航太も頑張りました。先取点を取り、のびのびとプレーできていましたが、コーチからの宿題は忘れずにできたでしょうか？

2回戦 FC 深川レインボーズ 3-1 江戸川ウイングスSC

得点：〔レインボーズ〕22 ⑧原田 (1-0)、26 ⑩千葉 (2-0)、34 ⑧原田 (3-0)、〔江戸川WSC〕35 ③(3-1)

江戸川WSCは本大会第4シードの強豪。相手右サイドからのドリブル突破、次々と放たれるシュートに耐えて0-0で前半を折り返す。後半に入るとシュート数でも相手を上回りレインボーズのペースへ。そして後半2分、右サイドから⑧原田がドリブルで持ち込み待望の先制点。後半6分には③栗野のミドルシュートの撥ね返りに⑩千葉が合わせて追加点。後半14分にはGKが前に出たところを⑧原田が冷静にループシュートで3点目。ベンチスタートのメンバー投入・フォーメーション変更で40分間走って積極的にプレスをかけ続け、DF⑤栞理を中心に体を張って相手の攻撃を防ぎました。後半15分に1点を失ったものの、江戸川WSCの攻撃を見事封じて3回戦進出。呉コーチの采配のもと、持ち前の全員攻撃・全員守備で勝ち取った1勝でした。

6月23日（土）

会場：篠崎グラウンド（江戸川区）

3回戦 FC 深川レインボーズ 1-1 砂町SC

(PK 7-6)

得点：〔レインボーズ〕30 ⑪大西 (1-1)、〔砂町〕11 ⑦(0-1)

度重なる得点機会を生かせずに前半11分相手左サイドからのカウンターで失点、0-1で後半へ。

後半5分にアクシデント、守りの要⑤栞理が負傷退場。⑫優斗の攻守にわたる活躍、GK⑩伸の好セーブで砂町SCの攻撃をしのぐ。そして後半10分、GKの動きを見ながら⑪大西の遠めからのシュートで待望の得点！相手ゴールを狙い続けるも、砂町SCの粘りの前に追加点が奪えずPK戦へ。

レインボーズが先行でPK開始。PKの1本1本ごとに会場が緊張感に包まれる中、6人目まで両チームの全員が成功。レインボーズ7人目のキッカー

③栗野が落ち着いてネットを揺らしたのに対して、砂町SCのキッカーが放ったボールがクロスバーを越えた瞬間、レインボーズのベスト8進出が決まりました。

※PK：ペナルティマークからのキック

準々決勝 FC 深川レインボーズ 0-8 ジェファFC

〔ジェファFC〕2 ⑪(1-0)、4 ④(2-0)、6 ⑪(3-0)、17 ⑪(4-0)、31 ⑦(5-0)、33(24) (6-0)、35 ⑦(7-0)、38(24) (8-0)

開始早々、相手俊足FWに続けてゴールを奪われ苦しい立ち上がり。レインボーズDFの上をゆく相手⑪番のドリブル。絶妙なタイミングでのDF裏への飛び出し。0-4で折り返した後半、レインボーズも中盤でのダイレクト・パスや、セットプレーで相手ゴールを狙うものの、決定的なチャンスをつくらせてもらえず1点が遠い……。逆にこちらのミスを見逃さず、得点を重ねてゆくしたたかさ。プレッシャーのある場面での一つ一つの基本的なプレーの差が、得点差となってしまった様に感じました。

もっともっと高いところを目指して、秋には少しでも目標に近づけるよう、これからの練習を頑張ろう！

[コーチからのコメント]

0-8という屈辱的な負け方で終わった準々決勝の結果を真摯に受け止め、自分たちに何が足りなかったか、各自が真剣に考えて欲しい。

個人の技術、チーム戦術の理解度、勝負に対するどん欲さ……

秋の2ブロック大会まで、どれだけ謙虚な気持ちで真剣に練習に取り組めるか、非常に大事かと思えます。